

2. 目標達成計画

事業所名 たのしい家淀川

作成日 平成22年5月12日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所自体が地域の一員として日常的に交流できるような地域との関係性がまだ十分に出来ていない。	日常の外出や買い物等まずは身近なところから交流の幅を広げていき地域の中に溶け込み地域の一員として支えあえる関係をつくっていきたい。	町内会でされている公園の掃除や、行事などについて町内会長さんから情報をもらい参加させてもらう。	6ヶ月
2	1	理念の共有と実践において入居者第一主義を基本理念として掲げているが職員一人ひとりが意味を理解した上で理念を共有するための話し合い等が出来ていない。	職員一人ひとりが理念の基本的な考えを理解した上で日々の実践をおこなうことでご入居者お一人おひとりにとってよりよい生活を送ってもらえるように援助する。	朝の申し送りや理念の意識づけを行うため唱和を行うようにする。またカンファレンスにおいても理念の意味についての話し合いをもつようにする。	3ヶ月
3	35	災害対策について日中の消防訓練は行っているが夜間を想定した訓練は行えていない。また非常用食料、飲料等についても十分な準備はしていない。	夜間を含め緊急時には対応できるよう訓練等を行い、非常時における物品の整備を行う	夜間を想定した避難訓練を行う。また災害時に備えて、飲料、食料等の整備を行い職員間で緊急時の情報の共有を行う。	3ヶ月
4	49	季節や、状況によっては日常的に外出の援助が出来ていない。	近所に公園や商店街があり外出できる環境にあるので、日常的に外出しご入居者にとってたのしい時間を過ごしてもらるようにする。	散歩や買い物の機会を日常的に持てるよう業務プログラムの中に散歩を入れ、担当職員を決めて援助を行う。	1ヶ月
5	5	地域包括支援センターの職員さんとは定期的に交流を持てているが市や区など行政との関係作りを積極的に行っていない。	行政とのかかわりを持つことでいつでも相談できる関係をつくり、サービスの質の向上に向けた取り組みを行う。	まずは現場の実状報告等を行ったりわからないことは質問したることから関係を作り、行政とのかかわりもちながらよりよいサービスが出来るようにする。	6ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。